

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい正月を迎えて心を新たに今年一年の計を立てておられるものと思います。月日が経つのは速いものでいつの間にか一年が過ぎてしまったようにも思えます。しかし、そんな中で昨年12月の日経産業新聞に「東大、治療法開発に期待」という大きな見出しがありました。この記事を見つけたときには、時はただ過ぎて行くだけでなく、我々の日々の生活にかかわる重大な問題提起やその解決方法なども一緒にもたらしてくれるのだなと実感しました。この記事は、多発性硬化症を悪化させる酵素をマウスを使った実験で発見したとのことでした。昨今の医学の進歩には目を見張るものがありますが、残念ながら諸先生方の弛まぬ努力にもかかわらず、いまだにその治療法を確立できていない病気もあります。多発性硬化症はまさにその一つです。新年にあたり、一日も早い治療法の確立を祈念したいと思います。

日本多発性硬化症協会 事務局 相田長利